



消防だより

5月の広報テーマ

林野火災等の防止

119

春は火災多発期

この時期は空気が異常に乾燥し風の強い日が多くなるため、ほんの小さな火からでも火災が発生し易く、一旦発生すると急激に大きくなり大火となる危険があります。

これからは暖かい日差しに誘われ、野山へ森林浴や山菜取りに出かける機会が増え、さらに農家のご家庭では田畑のあぜ焼きや、枯れ草の焼却が盛んに行われると思います。火気の取扱には十分注意を払い、「森林火災ゼロ」を目指し、緑豊かな街づくりをしていきましょう。

森林火災等を防ぐポイント

- タバコの投げ捨てをしない。
- 風の強い時は



火入れをしない。
火入れ場所を離れるときは完全に消火する。
火気を使用する時は必ず消火準備をする。

地震に備えて

最近、日本各地で地震が多発していますが、いくら地震予知の技術が発達したとはいえ、発生を未然に防ぐことはできません。

起きた地震に対してどう対処するかが重要ですので、被害を最小限度にとどめるには日頃の備えと、「いざ」という時の心備えが何よりも大切です。

地震の被害を防ぐポイント

グラツトきたら先ず火の始末火気使用時は、慌てず完全に消す。
テーブルの下に身をよせる。

変です
ので素
早い行
動を。
慌てて
外に飛
び出さ
ない。



揺れがひどくなるとガラス、看板などの落下物やブロック塀が倒壊するので、むやみに外へは出ない。
お互いに声をかけ合おう。

「地震だ、火を消せ」、「机の下に」と思いきり叫ぶ。自分もハツと我に返り、周りの人も最初は何をすべきか分かる。正しい情報に耳を貸すこと。情報が不足すると、日頃の冷静な判断ができなくなるので、日頃から携帯ラジオを用意する。

女性消防団員が高齢者住宅の防火査察を行う！

4月21日(土)、女性消防団員が洞爺町内の高齢者住宅の防火査察を行いました。
診断では、女性特有の極め細やかな指導と心配りで、火の取

扱いや安心電話の点検などを行い、お年寄りの方も熱心に聞き入っていました。

最近、高齢者住宅以外でもちよっとした不注意や、気の緩みから火災が発生していることから、火気の取扱いには十分注意し大切な命と財産を守りましょう。



お年寄りの家を訪問する女性消防団員

洞爺消防団の春季演習が行われる！

4月25日(水)、午後5時00分から「洞爺総合センター」を出火建物に想定した洞爺消防団(団長 佐伯義視)恒例の春季消防演習が行われました。

この演習は、消防の組織に最も必要とする指揮命令を的確に伝達し、日頃の訓練で培った迅速な消火活動を行うと共に、地域住民の防火意識を養うことを目的として洞爺支署と合同で行い、42名の職団員が参加しました。

洞爺総合センター付近には、関係者を含め町民の皆さんが多数詰め掛け、勢いよく真上に高々と上がる壮観な放水に、大きな拍手を送っていました。



本番さながらの春季消防演習

統一標語は：
「消さないで
あなたの心の
注意の火」

fire

3月の
火災件数 0件
救急件数 45件